報道関係各位

2026 年 11 月 9 日
株式会社 Finatext
株式会社 Finatext ホールディングス

Finatext、クレジットビジネスプラットフォーム「Crest」で「債権管理モジュール」を提供開始。freee の法人カード「freee カード Unlimited」に導入決定

～法人カードの債権情報を「Crest」に集約し、カードシステムや督促ツールと API で連携～

AI 時代の金融インフラを提供する Finatext グループの株式会社 Finatext（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：木下 あかね、以下「Finatext」）は、クレジットビジネスプラットフォーム「Crest」において、債権管理の機能を単体で導入できる「債権管理モジュール」の提供を開始しました。本モジュールは、freee 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO：佐々木 大輔、以下「freee」）が提供する法人カード「freee カード Unlimited」での導入が決定しています。

■提供背景

一般社団法人キャッシュレス推進協議会の調査によると、2025 年の法人カードの取扱高は 6 兆 3,240 億円で、2021 年の約 1.8 倍に増えました（※）。取扱高が増えると、事業者が管理する債権の件数も増えます。債権管理ではカードシステムや督促ツール、顧客管理システム（CRM）など複数のシステムにデータを反映する必要があるため、件数に比例して増加する手作業の負担が大きな課題となっています。

「Crest」は、与信・貸付・返済・残高管理・顧客管理といったクレジット業務の中核プロセスを一つの基盤で提供するクラウドサービスです。包括的な機能提供に加えて、プロセスを組み替えやすいアーキテクチャを活かし、一部の機能を業務モジュール単位で提供しています。2026 年 6 月には、指定信用情報機関への照会機能を単体で導入できる「信用情報モジュール」の提供を始めました。今回の「債権管理モジュール」は、このモジュール提供を債権管理に広げるものです。本モジュールにより、債権情報を一つの基盤に集約して既存システムと連携できる仕組みが容易に実現できるため、カード発行や与信の仕組みをすでに持つ法人向けファイナンスの事業者も、既存システムを入れ替えずに「Crest」の債権管理機能を利用できます。

■「債権管理モジュール」の概要

本モジュールは、「Crest」を債権管理業務のハブとし、事業者のカードシステムや督促ツール、顧客管理システム（CRM）などと API で連携するサービスです。債権情報の取り込みから、残高の管理、遅延損害金の計算、債権ごとの分類、お客様への応対の記録までを「Crest」上で一気通貫で行えるため、担当者は「Crest」の画面だけで債権管理の業務を完結できます。

◯主な特長

- **債権情報の集約と API 連携**
  事業者のカードシステムから債権情報を API 経由で取り込み、債権の状況や入金・応対の履歴を督促ツールや顧客管理システム（CRM）と連携します。事業者は、現在使っているツールやシステムを使い続けたまま、「Crest」に債権情報を集約して管理できます。

・**残高管理と延滞判定**
取り込んだ請求情報と入金情報をもとに、「Crest」上で債権の残高を計算・更新し、延滞の判定、遅延損害金の計算を行います。

・**リスト管理・タグ付け・応対記録を一つの画面で**
債権の一覧管理、状況や対応方針ごとのタグ付け、お客様からの問い合わせとその対応の記録を、同じ画面で扱えます。担当者は、債権の最新の状況とこれまでのやりとりを一つの画面で確認できます。

・**グループ内の貸金事業での運用実績**
本モジュールは、Finatext グループの貸金事業会社である株式会社スマートプラスクレジットの債権管理業務にて実際に運用されています。自ら債権管理を行う中で得た知見をもとに開発されており、事業者ごとに異なる商品や業務フローに対応できる柔軟性を備えています。

■「freee カード Unlimited」への導入について

freee は、事業の拡大が続く「freee カード Unlimited」の債権管理業務を効率化するため、「債権管理モジュール」を導入します。導入後は、「Crest」が freee の法人カードシステムおよび督促システムと API で連携し、債権情報を「Crest」に集約します。これまで複数のシステムに個別に反映していたデータは、API 連携により自動で反映されるようになり、担当者は「Crest」の画面上で債権管理の業務を完結できるようになります。Finatext と freee は 2026 年 10 月に導入プロジェクトを開始しており、2027 年春の稼働開始を予定しています。

■freee 株式会社　金融プロダクト事業統括本部　金融リスク管理部　債権管理チームご担当者様からのコメント

「freee カード Unlimited」は、多くの事業者の皆さまにご利用いただき、事業の拡大が続いております。ご利用が増えるなかで、債権管理を安定して効率的に運用できる体制づくりが重要な課題となっていました。このたび、Finatext 社の「Crest」の債権管理モジュールを導入することで、カードシステムや督促システムとの API 連携により債権情報を一元的に管理できるようになります。業務の効率化を進めるとともに、今後もお客さまに安心してご利用いただけるカードサービスを提供してまいります。

＜「freee カード Unlimited」での「債権管理モジュール」導入イメージ＞



■今後の展望

Finatext は今後、法人カード、請求書カード払い、事業者向けローンなど、法人向けファイナンスを運営する事業者に「債権管理モジュール」を提供していきます。また、「Crest」の機能を債権管理から督促の領域へ広げることも検討し、法人向けファイナンス事業の基幹システムとして「Crest」の機能拡充を進めてまいります。

【注記】

※ 一般社団法人キャッシュレス推進協議会「法人カード利用動向調査」（2026 年 4 月 30 日公表）

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

以 上

【Finatext グループと株式会社 Finatext について】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、AI 時代の金融インフラを提供する企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」、貸金サービスに必要なシステムや業務を一気通貫で提供する「株式会社スマートプラスクレジット」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。

会社名	：	株式会社 Finatext ホールディングス
代表者	：	代表取締役社長 CEO 林 良太
証券コード	：	東証グロース市場 4419
設立	：	2013 年 12 月
所在地	：	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	：	https://finatext.com/

■株式会社 Finatext

株式会社 Finatext は、AI 時代の金融インフラを提供する Finatext グループにおいて、フィンテックシフト事業および保険領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。「最速で、金融の新領域へ」をスローガンに掲げるフィンテックシフト事業では、金融機関の進化を実現するプロフェッショナル集団として、現状把握から目指す未来の実現まで一気通貫で導きます。金融サービサーとしての豊富な実務経験とユーザー理解、柔軟な対応力と圧倒的なスピードを強みとし、これまでに、複数の金融事業者のサービスを 1 つのプラットフォームで提供する三菱 UFJ 銀行様の『Money Canvas』、少額変額年金保険をスマートフォンで購入できる三井住友海上プライマリー生命様の『AHARA』など、革新的なサービスを開発しています。また、金融インフラストラクチャ事業においては、保険ビジネスプラットフォーム「Inspire（インスパイア）」とクレジットビジネスプラットフォーム「Crest（クレスト）」を軸に、金融 DX に取り組む事業者を支援しています。Finatext は、これまで世の中になかった新しい金融サービスの創出により、金融がもっと暮らしに寄り添う世界を実現します。

会社名	：	株式会社 Finatext
代表者	：	代表取締役 CEO 木下 あかね
設立	：	2018 年 12 月
所在地	：	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	：	https://finatext.com/fn